

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	: ペガロック 9002 B 剤
会社名	: 高圧ガス工業株式会社
住所	: 千葉県佐倉市石川 620-1
担当部門	: 品質保証部 品質保証課
電話番号	: 043-485-2241
FAX 番号	: 043-485-4798
緊急連絡先	: 043-485-2231

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類		
物理化学的危険性	: 引火性液体	区分 2
	: 自己反応性化学品	分類できない
	: 自己発火性液体	区分外
	: 自己発熱性化学品	分類できない
	: 金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分 5
	: 急性毒性(経皮)	区分 5
	: 急性毒性(吸入:蒸気)	区分 5
	: 急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	: 皮膚腐食性/刺激性	区分 1A-1C
	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	: 呼吸器感受性	区分 1
	: 皮膚感受性	区分 1
	: 生殖細胞変異原性	分類できない
	: 発がん性	分類できない
	: 生殖毒性	区分 2
	: 標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	: 標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分 1(呼吸器,中枢神経系,神経系,肝臓,腎臓,副腎)
環境に対する有害性	: 吸引性呼吸器有害性	分類できない
	: 水生環境急性有害性	区分 3
	: 水生環境慢性有害性	分類できない
	(分類対象外の項目は省略)	
ラベル要素		
絵表示またはシンボル	: 炎, 腐食性, 健康有害性	
注意喚起語	: 危険	
危険有害性情報	: 引火性の高い液体及び蒸気 飲み込むと有害のおそれ 皮膚に接触すると有害のおそれ 吸入すると有害のおそれ 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 長期または反復暴露による呼吸器、中枢神経系、神経系、肝臓、腎臓、副腎の障害 水生生物に有害	
注意書き	【安全対策】	
	: 取扱い場所周辺は換気設備を設ける等、蒸気が滞留しないよう配慮すること。	
	: 熱/火花/裸火/高温のもの等の着火源の周辺で使用・保管しないこと。	

- ・ 換気装置、照明機器等の電気機器は防爆型のもを使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等、適切な保護具を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後は水(湯、溶剤は不可)および石鹼で手、顔等を洗い、うがいをすること。
- ・ ミスト、蒸気の吸入を避けること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の診断を受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合、直ちに石鹼水で洗浄し、汚染された衣類はすべて脱ぐこと。
- ・ 目に入った場合、清浄な水で繰り返し洗浄し、眼科医の手当てを受けること。
- ・ 飲み込んだ場合、水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受けること。

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物  
一般名 : アクリル系接着剤

危険有害物質を対象

成分	含有量 (%)	化学式又は構造式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
メタクリル酸メチル	45 ~ 55	CH <sub>2</sub> CCH <sub>3</sub> COOCH <sub>3</sub>	2-1036
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	15 ~ 25	CH <sub>2</sub> CCH <sub>3</sub> COOCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> OH	2-1044
メタクリル酸	7 ~ 12	CH <sub>2</sub> CCH <sub>3</sub> COOH	2-1025

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : すぐに拭き取り、石鹼水で洗い流す。かゆみ、炎症等が継続する場合は、医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。
- 最も重要な徴候および症状 : データなし。
- 応急処置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。
- 医師に対する特別注意事項 : 有機溶剤中毒と同様な処置が必要である。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、炭酸ガス、アルコール、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 火災時の特定危険有害性 : 配合成分(メタクリル酸エステル等)の蒸気濃度により爆発の危険性があるので注意する。消火作業の際に煙を吸入しないよう注意する。
- 特定の消火方法 : 初期消火には粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災にはアルコール消火器等を使用する。棒状水の使用は火災を拡大させる可能性がある。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具(送気マスク、自給式呼吸器、有機ガス用防毒マスク、不浸透性手袋等)を着用し、風上から消火する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 風下の人を避難させる。作業の際には保護靴、保護手袋（不浸透性手袋）、保護眼鏡、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流路を毛布・土嚢等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
- 除去方法 : 少量流出の場合は漏出液をウエス等で拭いて焼却する。多量流出の場合は漏出液を土砂等でその流れを止め、できるだけ回収し、残分はウエス等で拭いて焼却する。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを禁止する。  
火花を発生しない、安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 火気厳禁。火気および高温のものを近づけないようにする。静電気対策のために、装置、機器等の設置を確実にする。作業場の床が絶縁状態にならないよう配慮する。換気装置、照明機器等の電気機器は防爆型のもを使用する。直射日光、紫外線にさらされないよう使用する。
- 局所排気装置・全体換気安全取扱い注意事項 : 局所排気内、または全体換気設備のある場所で取扱う。  
A 剤・B 剤が多量に混合されると反応熱により高温に達するおそれがある。適切な保護具を着用し、皮膚、粘膜、着衣または目に触れることを防止する。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。取扱い後は手、顔等を良く洗い、うがいをする。飲食、喫煙をする場所に入る前に汚染された衣類と保護具を取り外す。
- 接触回避 : 酸化剤・還元剤等、酸化還元反応をする物質と接触すると反応により高温に達するおそれがある。

### 保管

- 技術的対策 : 揮発防止のため容器を密閉して保管する。熱/火花/裸火/高温のもの等の着火源の周辺で保管しない。重合禁止のため、低酸素状態にならないよう保管する。減圧状態で保管しない。
- 混触禁止物質 : 強アルカリ、酸化・還元反応を起こす物質。
- 適切な保管条件 : 直射日光、紫外線を避け、冷暗所にて保管する(5~23 )。保管量、保管場所は消防法等法令にしたがい、適切に保管する。
- 安全な容器包装材料 : 耐溶剤性ポリ容器。

## 8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策 : 局所排気内、または全体換気設備のある場所で取扱う。取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体の洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- ACGIH : [メタクリル酸メチル]TLV-TWA 50ppm、TLV-STEL 100ppm  
[メタクリル酸]TLV-TWA 20ppm
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク
- 手の保護具 : 保護手袋(ポリエチレン、ゴム製等の不浸透性で耐溶剤性・耐酸性をもつもの)
- 目の保護具 : 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡)
- 皮膚及び身体の保護具 : 直接皮膚に触れることを防止できる帯電防止衣。帯電防止保護長靴。
- 衛生対策 : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状	: 粘性液体
色	: 赤色
臭い	: アクリル臭
pH	: データなし

### 物理的状態が変化する特定の温度 / 温度範囲

沸点	: 100.8 (メタクリル酸メチル)
融点	: -48 (メタクリル酸メチル)
引火点	: 10~20 (セタ密閉式)
発火点	: 421 (メタクリル酸メチル)
爆発特性(爆発限界)	: 下限 2.1vol%、上限 12.5vol% (メタクリル酸メチル)
密度	: 比重 1.0~1.1(20 )
溶媒に対する溶解性	: 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 光、熱、アルカリ性物質との接触、還元剤との接触等により重合を開始する。
特定条件下で生じる危険な反応	: アルカリ性、還元性物質との接触により急激に反応し、反応熱により高温に達することがある。
避けるべき条件	: 光、加熱。
危険有害な分解生成物	: 燃焼などにより CO <sub>2</sub> 、CO、および NO <sub>x</sub> 等の有毒ガスが発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: [メタクリル酸メチル]LD <sub>50</sub> 7900mg / kg (ラット) [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル]LD <sub>50</sub> 5564mg / kg (ラット) [メタクリル酸]LD <sub>50</sub> 1210mg / kg (ラット)
急性毒性(経皮)	: [メタクリル酸メチル]LD <sub>50</sub> 7588mg / kg (ラット)、 5000mg / kg (ウサギ) [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル]LD <sub>50</sub> > 3000mg / kg (ウサギ) [メタクリル酸]LD <sub>50</sub> 500~1000mg / kg (ウサギ)
急性毒性(吸入)	: [メタクリル酸メチル]LC <sub>50</sub> 7093ppm (ラット) [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] データなし [メタクリル酸]LC <sub>50</sub> 7.1mg / L (ラット) 飽和蒸気圧以上なのでミスト吸入
皮膚腐食性・刺激性	: [メタクリル酸メチル] 区分2 皮膚刺激 [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 区分外 [メタクリル酸] 区分1A 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: [メタクリル酸メチル] 区分2A-2B 強い眼刺激 [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 区分2A 強い眼刺激 [メタクリル酸] 区分1 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性	: [メタクリル酸メチル] 区分1 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データなし) [メタクリル酸] 分類できない(データなし)
皮膚感作性	: [メタクリル酸メチル] 区分1 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 区分1 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ [メタクリル酸] 区分外
生殖細胞変異原性	: [メタクリル酸メチル] 区分外 [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 区分外 [メタクリル酸] 分類できない(データなし)
発がん性	: [メタクリル酸メチル] 区分外 [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データなし) [メタクリル酸] 分類できない(データ不足)
生殖毒性	: [メタクリル酸メチル] 区分2 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

- [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データ不足)  
[メタクリル酸] 分類できない(データなし)
- 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : [メタクリル酸メチル] 区分3(気道刺激性、麻酔作用)  
呼吸器への刺激のおそれ、眠気およびめまいのおそれ
- 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データなし)  
[メタクリル酸] 区分3(気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ  
[メタクリル酸メチル] 区分1(呼吸器、中枢神経系)  
長期または反復暴露による呼吸器、中枢神経系の障害
- 吸引性呼吸器有害性 : [メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データ不足)  
[メタクリル酸] 区分1(肝臓、神経系、腎臓、副腎)、区分2(呼吸器)  
長期または反復暴露による肝臓、神経系、腎臓、副腎の障害  
長期または反復暴露による呼吸器の障害のおそれ  
[メタクリル酸メチル] 分類できない(データなし)  
[メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル] 分類できない(データなし)  
[メタクリル酸] 分類できない(データなし)

## 12.環境影響情報

- 生態毒性 : [メタクリル酸メチル]48時間 EC<sub>50</sub> 69mg/L(オオミジンコ)  
[メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル]96時間 LC<sub>50</sub> >100mg/L(メダカ)  
[メタクリル酸] 72時間 EC<sub>50</sub> 14mg/L(藻類 セレナストラム)  
環境への放出を避けること。
- 残留性/分解性 : 混合物としてのデータなし
- 生物蓄積性 : 混合物としてのデータなし
- 土壤中の移動度 : 混合物としてのデータなし

## 13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : A 剤・B 剤を少量ずつ混合し、完全に硬化させてから廃プラスチックとして関連法規並びに地方自治体の基準にしたがい廃棄を行なう。  
完全硬化していない接着剤や、接着剤を含む有機溶剤等の廃液、接着剤がしみ込んだ布・紙等は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して適切に処理する。地方自治体がある場合にはそこに委託して処理する。
- 汚染容器および包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準にしたがって適切な処分を行なう。

## 14.輸送上の注意

- 陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。
- 海上輸送 : 船舶安全法・港則法等に基づき積載、輸送を行う。
- 航空輸送 : 航空法等に基づき積載、輸送を行う。
- 国連分類 : クラス3(引火性液体) 容器等級
- 国連番号 : 1133
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては、容器に漏れないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15.適用法令

- 消防法 : 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)(危険等級 )
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
- 船舶安全法 : 危険物 引火性液体類
- 航空法 : 爆発物等
- 労働安全衛生法 : 危険物(引火性のもの)  
通知対象物 メタクリル酸メチル, メタクリル酸
- 化学物質管理促進法(PRTR)  
第一種指定化学物質 : メタクリル酸メチル(政令番号420)  
メタクリル酸(政令番号415)

## 16. その他の情報

- 引用文献
- : 化学物質等安全データシート(MSDS) - 第 1 部内容及び項目の順序 JIS Z 7250
  - 日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」
  - 化学工業日報社「14303 の化学商品」
  - GHS 関係省庁連絡会議編「GHS 分類マニュアル」(H18.2.10 版)
  - 中央労働災害防止協会「GHS 対応による混合物(化学物質)の MSDS 作成手法の研修テキスト(改訂版)」
  - 安全衛生情報センター「GHS モデルラベル・MSDS 情報」
  - 原材料の製品安全データシート

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得る為、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、個々の取扱い等の実態に応じて適切な使用条件を設定くださるようお願いいたします。